

2026(令和8)年2月16日
報道発表資料[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
広報担当:山本、儀三武

<ロームシアター京都 10 周年記念事業>

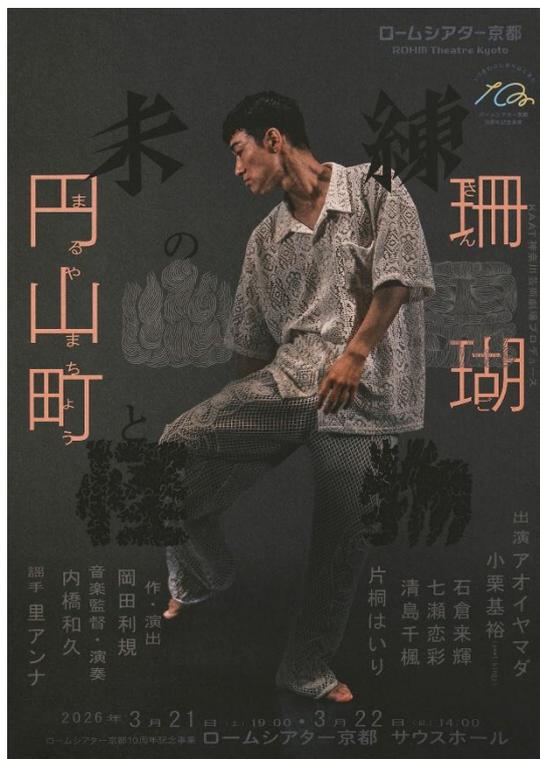
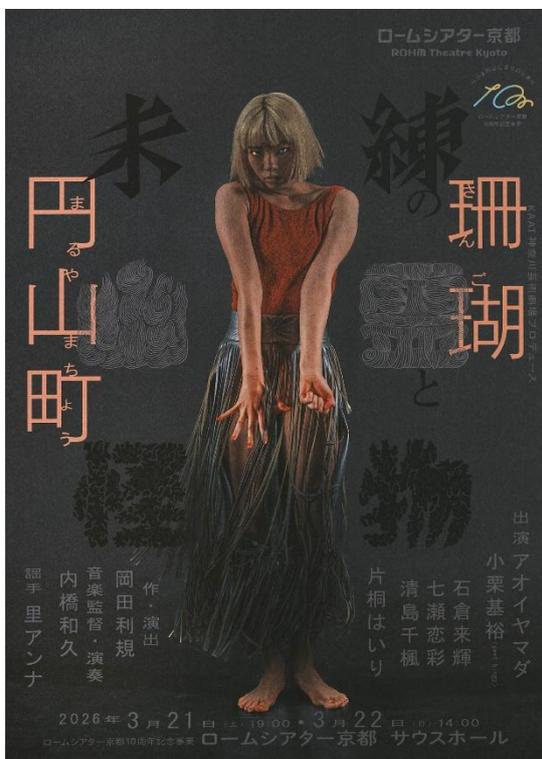
能のフォーマットを応用し、ついでた「夢」を幻視する、レクイエムとしての音楽劇

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース

『未練の幽霊と怪物—「珊瑚」「円山町」—』

日程: 2026年3月21日(土)~22日(日)

会場: ロームシアター京都 サウスホール



2026年3月21日(土)19:00 開演 / 3月22日(日)14:00 開演

作・演出:岡田利規

音楽監督:内橋和久

出演 アオイヤマダ 小栗基裕(s**t kingz)/

石倉来輝 七瀬恋彩 清島千楓 /

片桐はいり

謡手:里アンナ 演奏:内橋和久

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:山本、儀三武

電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366

E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp

**国際的に活躍する演劇作家・岡田利規が、目に見えないもの、霊的な存在がその思いを語る
「夢幻能」の構造を借りて紡ぎ出す音楽劇、待望の第二弾！**

ロームシアター京都 10 周年記念事業として開催する KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『未練の幽霊と怪物—「珊瑚」「円山町」—』は、現代演劇における言葉と身体、空間がおりなす可能性を開拓し、国際的に活躍する演劇作家の岡田利規(チェルフィッチュ主宰)が、現存する世界最古の舞台芸術「能」に触発された音楽劇です。2021年に同じく KAAT 神奈川芸術劇場プロデュースで上演した『未練の幽霊と怪物—「挫波」「敦賀」—』*の第二弾となる新作です。

*受賞：第 25 回鶴屋南北戯曲賞。第 29 回読売演劇大賞優秀演出家賞。第 7 回読売文学賞(2021 年出版の戯曲に対して)

能の中でも『夢幻能』と呼ばれる形式の舞台には、さまざまな思いや願いを果たせないまま亡くなり成仏できずにいる幽霊が「シテ(主人公)」として登場します。彼らが思いを遂げられなかった理由の多くは、**社会的・政治的な問題**に起因します。

今回は埋立てが続く辺野古に生息していた『珊瑚』をシテとする 1 作と、社会の獰猛な渦に翻弄された女性に主眼を置く『円山町』の二本立てで上演。現代社会の巨大な構造の中で犠牲となった、膨大な未練の思いを残す存在を鮮やかに表出させます。前作上演から 5 年の時を経て、今、岡田が新たに問いかける現世の姿とは――。

主役である「シテ」には、東京 2020 オリンピック閉会式でソロパフォーマンスを披露し、気鋭の“表現者”として多彩な活動を展開するアオイヤマダと、世界的ダンスパフォーマンスグループ s**t kingz のメンバーとして活躍する一方、近年では舞台や映像などソロでの表現の幅を広げている小栗基裕。「ワキ」には、舞台を中心にキャリアを重ね、今回が岡田作品 4 度目の参加となる石倉来輝、プロダンスチーム「KOSÉ 8ROCKS」に所属し、俳優としても領域を広げている七瀬恋彩、さらに CM や舞台、声優など多方面で経験を重ねる沖縄出身の清島千楓。「アイ」には、第一弾にも出演し、唯一無二の存在感で印象を残した片桐はいりが続投します。

音楽は前作に引き続き、内橋和久が担当。また謡手として今回は奄美出身の里アンナが参加。岡田の紡ぎ出す繊細な「謡」を、内橋の演奏に合わせて歌いあげます。

言葉、身体、音楽が紡ぎ出す幽玄の世界を、ぜひご体感下さい。

「未練の幽霊と怪物」について
社会とその歴史は、犠牲者としての未練の幽霊と怪物を、
ひっきりなしに生み出して来て、今だって生み出し続けています。
わたしたちはそれら幽霊や怪物のことは見ないこと忘れてしまうことを、
その気になればできちゃうし、そのほうが快適な向きは確かにある。
でもそれらに、つまり直視しないこと忘却することに、抗うために、
能という演劇形式が持つ構造を借りて、音楽劇を上演します。

岡田利規

■公演情報

<ロームシアター京都 10周年記念事業>

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース

『未練の幽霊と怪物—「珊瑚」「円山町」—』

作・演出：岡田利規

音楽監督：内橋和久

出演：

アオイヤマダ 小栗基裕 (s**t kingz) /

石倉来輝 七瀬恋彩 清島千楓 /

片桐はいり

謡手：里アンナ 演奏：内橋和久

スタッフ

美術：中山英之

照明：横原由祐

音響：佐藤日出夫

衣裳：Tutia Schaad

ヘアメイク：谷口ユリエ

演出助手：中村未希

舞台監督：横澤紅太郎

公式サイト：<https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/134537/>



(2021年『未練の幽霊と怪物—「挫波」「敦賀」—』より 撮影：高野ユリカ)

・開催日時

2026年3月21日(土) 19:00開演/3月22日(日) 14:00開演

・会場

ロームシアター京都 サウスホール(京都市左京区岡崎最勝寺町13)

・チケット料金(全席指定・税込)

全席指定(税込)

一般1階席 6,000円 / 会員特別価格 5,400円

一般2階席 4,000円 / 会員特別価格 3,600円

25歳以下 3,000円

18歳以下 1,000円

※未就学児入場不可

※18歳以下およびユース(25歳以下)チケットは、公演当日、受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。

※3/22(日)託児サービスあり(要事前予約)

※会員…サポーター・パートナー制度(「鑑賞で応援!コース」)、
京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club、京響友の会

■チケット取扱 **チケット発売中**

・オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> ※要事前登録(無料)

ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL: 075-746-3201(窓口・電話とも 10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

・京都コンサートホール チケットカウンター

TEL: 075-711-3231(窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館日 ※休日の場合は翌日)

・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> <Pコード 537-462>

・イープラス <https://eplus.jp/>

■観劇サポート(要事前申込・定員あり)

・託児サービスについて

3/22(日)託児サービスがご利用いただけます。詳細・お申込は公演ページをご確認ください。

<https://rohmtheatreyokyo.jp/event/134537/>

・車椅子でご来場のお客様へ

車椅子席をご希望の方、介助者同伴の方は、ロームシアター京都チケットカウンター(075-746-3201)までご連絡ください。

・きこえない・きこえづらいお客様へ

ヒアリングループ

ヒアリングループの専用受信機をご利用いただけます(専用受信機の無料貸出には台数の制限あり)。

座席位置に制限があるため、チケット購入前にアクセシビリティ問合せまでお問合せください。

ポータブル字幕機

ポータブル字幕機をご利用いただけます(字幕機の無料貸出には台数の制限あり)。座席位置には制限がないため、ロームシアター京都チケットカウンターでチケットをご購入いただき、アクセシビリティ問合せ先にお申込みください。

- ・みえない・みえづらいお客様へ

音声ガイド ※準備が整い次第、WEB ページにてご案内いたします。

ラジオ波を利用し、舞台の美術や照明、また登場人物の動きや身につけているものについてリアルタイムで解説し、その解説音声を副音声として利用者様にお届けするシステムです。舞台の生音を耳で聞きながら、受信機からの副音声を同時に聞いていただきます。(受信機の無料貸出には台数の制限あり)

- ・アクセシビリティ問合せ・申込先

E-mail: accessibility@rohmtheatrekkyoto.jp FAX: 075-746-3366

※件名を『未練の幽霊と怪物』観劇サポート」とし、本文に「お名前・連絡先・観覧日・希望するサポート・利用人数・(ポータブル字幕機ご希望の方のみ座席番号)」をご記入のうえ、ご観劇3日前までにお申し込みください。

■感想シェア会

3月22日(日)の公演終了後に、異なる対象での感想シェア会を開催します。

日時: 3月22日(日) 16:15 集合場所: ロームシアター京都 サウスホール 1F 席ホワイエ

対象: ① 年齢不問

② 29歳以下対象 ※サポーター・パートナー制度 U29 会員イベントとして実施しますが、会員以外の方にもご参加いただけます。

※3月21日(土)・22日(日)のどちらかの本公演チケットをお持ちの方

定員: 各10名(②については、劇場会員を含む)

実施場所: ロームシアター京都 サウスホール ①1F 席ホワイエ ②2F 席ホワイエ

参加費: ①②とも 無料

進行: ①川原美保(ロームシアター京都) ②丸井重樹(ロームシアター京都)

申込先: ①②とも 必要事項「名前・生年・電話番号・メールアドレス」を添え、以下のいずれかでお申込みください。

WEBフォーム

①にお申込みの方 <https://business.form-mailer.jp/fms/733ad2a1333592>

②にお申込みの方 <https://business.form-mailer.jp/fms/6066ee69331598>

FAX 075-746-3366

受付開始: 2026年2月24日(火) 10:00~ (先着順)

■他地域での公演

【神奈川公演】2026年2月13日(金)~3月1日(日) KAAT 神奈川芸術劇場 <大スタジオ>

【兵庫公演】2026年3月7日(土)、8日(日) 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

【新潟公演】2026年3月15日(日) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 劇場

■クレジット

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

企画制作：KAAT 神奈川芸術劇場

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

■ロームシアター京都 10 周年記念事業 ※記念事業実施期間：2025 年 10 月 31 日～2026 年 12 月 31 日



多彩な事業をお届けし、皆様とともに京都から「劇場文化」を育んできたロームシアター京都は、2026 年 1 月 10 日に 10 周年を迎えました。たくさんの「ありがとう」と、これからの「わくわく」を共有する特別なラインアップをどうぞお楽しみください。

■プロフィール

<作・演出>

岡田利規 | Toshiki Okada

演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。

その手法における言葉と身体の特徴的な関係が注目される。2007年『三月の5日間』でブリュッセルの国際舞台芸術祭、クンステン・フェスティバル・デザールに参加。この初の海外公演以降、国内のみならず、アジア・欧州・北米・南米あわせて90都市以上で作品を上演し続けている。2016年からはドイツの公立劇場レパトリー作品の作・演出も継続的に務める。2020年『掃除機』(ミュンヘン・カンマーシュピーレ) および2022年『ドーナ(ッ)ツ』(ハンブルク、タリア劇場)でベルリン演劇祭(ドイツ語圏演劇の年間における“注目すべき10作”)に選出。

タイの現代小説をタイの俳優たちと舞台化した『プラータナー：憑依のポートレート』で第27回読売演劇大賞・選考委員特別賞を受賞。能のナラティヴの構造を用いた『未練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』(KAAT 神奈川芸術劇場)で第72回読売文学賞・戯曲・シナリオ賞及び第25回鶴屋南北賞受賞。2021年には『夕鶴』(全国共同制作オペラ)で歌劇の演出を手がけた。

小説家としては、2007年に『わたしたちに許された特別な時間の終わり』(新潮社)を刊行。第2回大江健三郎賞受賞。2022年に『ブロッコリー・レボリューション』(新潮社)で第35回三島由紀夫賞および第64回熊日文学賞を受賞。



©Kikuko Usuyama

<音楽監督・演奏>

内橋和久 | Kazuhisa Uchihashi

大阪府生まれ、ベルリン在住。ギタリスト、ダクソフォン奏者、コンポーザー、アレンジャー、プロデューサー。レーベル「イノセントレコード」主宰。インプロヴィゼーショントリオ／アルタードステイツ主宰。1983年頃から即興を中心とした音楽に取り組み始め、国内外の様々な音楽家と共演。活動の領域は音楽だけにとどまらず、映像作品や演劇などの音楽も手掛け、中でも、劇団・維新派の舞台音楽監督を、主宰の松本雄吉が亡くなるまで30年以上にわたり務めている。維新派以外にも宮本亜門、河原雅彦などの作品も手がけ、近年はチェルフィッチュの岡田利規のミュンヘン、カンマーシュピーレでの4作品と、2021年神奈川芸術劇場、2022年ハンブルクのタリアシアター、オスロ国立劇場での作品



の作曲を手がける。音楽家同士の交流、切磋琢磨を促す「場」を積極的に作り出し、1995年から即興ワークショップ「ニュー・ミュージック・アクション」を神戸で開始する。その発展形の音楽祭、フェスティバル・ビヨンド・イノセンスを1996年より毎年開催、2007年まで続ける。これらの活動と併行して歌に積極的に取り組み、おおたか静流、UA、細野晴臣、くるり、七尾旅人、青葉市子とも活動。Salyuとはデュオユニット「ウツギッタ」を2014年に結成。また、2002年から2007年までNPOビヨンド・イノセンスを立ち上げ、大阪フェスティバル・ゲート内でオルタナティヴ・スペース、BRIDGEを運営したことも知られる。現在はベルリンと東京を拠点に活躍。パワーと独創性に満ちたギター的アプローチで、インプロヴィゼーション(即興)とコンポジション(楽曲)の境界を消し去っていく。親友でもあるギタリスト／ハンス・ライヒェルの発明によるダクソフォンの演奏者。新楽器レゾナントハーブギターを2017年に考案。演奏活動を始めている。

<出演>

アオイヤマダ

東京 2020 オリンピック閉会式ソロパフォーマンス、ダムタイプ「2020」パフォーマンスの他、ヴィム・ヴェンダース 作品「PERFECT DAYS」や Netflix ドラマ「First Love 初恋」に俳優としての出演や、宇多田ヒカル「何色でもない花」のMVを振付。NHK「ドキュメント 72 時間」のナレーションなどに携わるなど、身体と声で活動を広げている。

ポエトリーダンスユニット アオイツキ、生き様パフォーマンス集団「東京 QQQ」としても活動中。所属するクリエイティブコレクティブ”海老坐禅”の作品集「EBIZAZEN」が発売された。



©NaokoHasegawa

小栗基裕 (s**t kingz)

アメリカ最大のダンスコンテスト「BODY ROCK」で2年連続優勝。23年10月25日にはダンサー初の単独武道館ライブを即完売させた、日本を代表する世界的ダンスパフォーマンスグループ s**t kingz のメンバー。ジャズ・タップ・ヒップホップなど幅の広い表現力が見るものを惹きつけるグルーブが魅力。三浦大知・King & Prince などをはじめ、グループとしては国内外アーティストの振付を500曲以上手掛け、エンターテインメントシーンの最先端で活躍し続けている。近年の主な出演作に、【ドラマ】「アンチヒーロー」「ブギウギ」、【映画】「孤狼の血 LEVEL2」、【舞台】『球体の球体』、劇団 papercraft『空夢』、『ある都市の死』など。



石倉来輝

社会をより良くしていくための手がかりを探求している。2016年、SPAC『高き彼物』(古舘寛治演出)への出演をきっかけに俳優活動を始め。2018年から2023年まで劇団ままごとに在籍、現在はミレニアムプロに所属し、その独特な身体性と異質でありながらも引力を放つような存在感で、舞台にとどまらずドラマ・映画へと活動を広げている。主な出演作に、【舞台】本谷有希子『本当の旅』、快快『ルイレイ』、ゆうめい『姿』、ロチユス『成人(仮)』、【映画】「i ai」(マヒトウ・ザ・ピーポー監督)など。岡田利規作品への参加は、チェルフィッチュ『リビングルームのメタモルフォーシス』(神戸・名古屋公演)に続き、今回が4回目となる。



七瀬恋彩

2003年生まれ、東京都出身。ブレイクダンスを主とするプロダンスチーム「KOSÉ 8ROCKS」に所属し、俳優としても活動。SNSの総フォロワー数は220万人超(2025年10月時点)。舞台『SaGa THE STAGE ～再生の絆～』、『幕が上がる』、ブロードウェイミュージカル『ピーター・パン』などに出演。



清島千楓

2006年9月17日生まれ。沖縄県出身。特技は薙刀。2022年1月に栗山民也氏演出の舞台『hana-1970、コザが燃えた日-』でデビュー。その後、大塚製菓「カロリーメイト」受験生応援シリーズCMにメインキャストで出演し、トランペット演奏を披露。ディズニー&ピクサーアニメーション映画「インサイド・ヘッド2」声優や東急電鉄のCMにも出演し、注目を集めている。



片桐はいり

東京都出身。1982年大学在学中から93年まで劇団で活動。94年から『片桐はいり一人芝居 ベンチャーズの夜』(作・演出:岩松了)で全国を公演。近年の主な出演作【舞台】『主婦 米田時江の免疫力がアップするコント6本』(作・演出:宮藤官九郎)、『誠實浴池』(作・演出:王嘉明・タニノクロウ)『スプーンフェイス・スタインバーグ』(演出:小山ゆうな)、『未練の幽霊と怪物ー「挫波」「敦賀」ー』(作・演出:岡田利規)【ドラマ】『海に眠るダイヤモンド』【映画】『まる』、などの他キネカ大森先付ショートムービー「もぎりさん」を制作。

著書に「わたしのマトカ」「グアテマラの弟」「もぎりよ今夜も有難う」。



里アンナ(謡手)

奄美大島出身。3才より祖父に奄美の島唄を習い、その後島唄の大会で数々の賞を受賞。2005年、山本寛斎プロデュースの「愛・地球博」に参加後、「恋し恋しや」でメジャーデビュー。2013年、2015年ミュージカル『レ・ミゼラブル』にファンテーヌ役で出演。2016年ベルギーの振付家・ダンサーであるシディ・ラルビ・シェルカウイの作品『ICON』に出演。同年、里アンナ×佐々木俊之、唄とドラムのユニット結成。フランスのコルシカ島で開催された歌のフェスティバルとパリ公演を成功させ高い評価を得た。2018年フラメンコを代表するアーティスト、エバ・ジェルバブエナと共演。同年、大河ドラマ「西郷どん」メインテーマに歌で参加。その圧倒的な歌唱力で話題を呼んだ。奄美編では愛加那の義理の姉、里千代金役で出演。2020年、コロナの影響で活動が自粛される中、奄美大島の自然の中で唄う活動をスタート。2023年、任天堂のゲーム、スプラトゥーン3のキャラクターの声優と歌を担当。同年開催されたワシントンD.Cで開催された全米桜祭りのオープニングセレモニーでは、里アンナ×佐々木俊之で出演し絶賛された。同年、麿赤兒率いる大駱駝艦「やちゃぼう うたうなぐ」に出演。

